

六甲アイランドまちづくり協議会 第11回役員会議記録

日時 平成20年4月12日(土) 16時～18時

場所 RIC ふれあい会館

1. 出席 定数確認

出席(敬称、役職は省略) 近藤、岸本、岡本、藤原(事務局スタッフ塚本、児島)

E3 王子田、E4 藤岡、E5 土屋、E6 多田、E7 吉川、E11 井原、W3 明神

W4 高橋、W5 長田、W6 安平

神戸市: みなと総局 皐月、中島、野村、高橋 区役所: まちづくり支援課 永里、

秋田 コンサルタント: 地域問題研究所山本

*欠席 徐、E8 瀬川、E10 香月、W7 安藤

*役員総数 18 名に対し、出席 14 名、委任状 0 名、計 14 名により役員会は成立。

*オブザーバー E3 陳、E11 堅田、W3 越智、W5 日高

2. 活動報告(近藤会長)

① 現行の地区計画と新しく提案する地区計画について

9・10回役員会で説明した大きな図面を使用して再度説明をした。

② 六甲アイランドのまちづくりに関するアンケート調査(1)について

アンケート調査(1)(島内・島外用の2部)の手元資料により説明をした。

③ アンケートに添付する資料について

- ・「六甲アイランドまちづくり協議会の活動報告とアンケートのご依頼」の表題の近藤会長名による、島内・島外向け依頼文について
 - ・「六甲アイランドの歴史と現状」(岸本記)の書類について
- 上記2点の手元資料により説明した。

④ アンケート調査の日程・発送・回収方法等について

- ・島内関係者には全戸配布の上、各街区において回収ボックス等で回収。
 - ・島外関係者には東灘区役所まちづくり支援課名で郵送、郵送で回収。
- 回収に多大な人力を必要とするので各街区の協力を依頼した。

⑤ 広報⑨号の(案)について

⑥ 神戸国際大学、甲南大学、カナディアンアカデミーへの訪問報告

(議事詳細)

- ・W7 吉川氏よりまちづくり協議会役員会案内、広報について配布日の確認。これに対し六甲アイランド住民全部に同時に行きわたるべく管理会社には委託しているが、どうしても1日程度のズレが生じる事もあると回答。

- ・近藤会長より地区計画について意識調査の為のアンケート調査（1）の説明、回収タイムスケジュールの説明（4月17日までに印刷、18日に管理会社に依頼、20日までに全戸配布予定）

- ・タイムスケジュールがタイト過ぎるとの指摘あるも間延びさせず、回収率を向上させるためにこのスケジュールで行きたい旨の回答。

- ・島外居住者に対する通信費用等についての質問。費用については神戸市の助成金で行うと回答。

- ・山本コンサルタントより地区計画変更のために必要なアンケート結果の説明。地区計画変更を六甲アイランドの総意とするのには大多数の同意が必要。大多数とは住民、地権者、働く人の合計を分母としその過半数が目安となるとの説明。

- ・神戸市よりまちづくり条例、地区計画変更のためのまちづくり協定の説明。アンケートで1通でも絶対反対という意見が出ないようにする事も必要との話が出る。但しこの反対意見は合理的な反対で無ければならないとの注釈ある。

- ・アンケートの質問順番についての意見がある。（問4の回答で2 地区計画の見直しは必要ない）とあるが、これは地区計画に対して認識の無い住民が回答する可能性が高いのではないかの懸念がある。これに対して一部民間の企業エゴが住民を裏切った事により、六甲アイランド住民が2万㎡の緑地を失ったという事を許容出来るかという事を問いたいの为本心である。今回のアンケートにより地区計画を説明し、地区計画の見直しが必要無いという回答が多ければ、ニュース等で再度情宣して行く。今回は住民の意識を図るべく誘導的な事はするべきでは無いと回答。

- ・アンケート回収方法について検討。基本的にはマンションのフロントに回収ボックスを置き回収して行く。

- ・広報⑨号についてはアンケート実施後、配布、アンケート②実施までに全島住民説明会を実施予定。

- ・岸本副会長より自身の言葉で綴られた六甲アイランドの歴史と現状の報告書の説明、六甲アイランドをもう一度活気ある街にしたい旨の提案。

六甲アイランドまちづくり協議会 第12回役員会議記録

日時 平成20年5月10日(土) 16時～18時

場所 RIC ふれあい会館

1. 出席 定数確認

出席(敬称、役職は省略) 近藤、岸本、岡本、藤原(事務局スタッフ児島)

E4 藤岡、E5 土屋、E6 多田、E7 吉川、E11 井原、W4 高橋、W6 安平

神戸市：みなと総局 皐月、中島、野村、高橋 区役所：まちづくり支援課 永里、

秋田 コンサルタント：地域問題研究所 山本

*委任状 E3 王子田、W3 明神、W5 神原

*欠席 徐、E8 瀬川、E10 香月、W7 安藤

*役員総数 18 名に対し、出席 11 名、委任状 3 名、計 14 名により役員会は成立。

*オブザーバー E8 福本、E11 堅田、W4 野坂、安達、W5 日高、藤田

2. 活動報告(近藤会長)

- ① 六甲アイランドのまちづくりに関するアンケート調査(1)の結果報告を下記資料を基に報告を行った。

- ・ 六甲アイランドのまちづくりに関するアンケート調査(1)集計表
- ・ 第1回アンケート集約

主たる内容は

配布総数：7,003 回収合計：941 回収率：13.4%

- ・ 問2 地区計画について 内容を含めて知っていた 26%
- ・ 問3 ラグビー場北マンション建設問題 内容を含めて知っていた 56%
- ・ 問4 地区計画変更の必要性 不都合は見直すべき 82%
- ・ 問5 まちづくり 3つの目標 賛同する 81%
- ・ 問5に関する意見の記入件数 280件 自由記入件数 499件

短期間のアンケート調査にも係わらず多くの回答をいただき、「地区計画」変更を求める声が80%以上あるので、「地区計画の変更」の方向で進め、アンケート調査をもう一度行う。

住民からの意見件数は、779件にのぼり、現在鋭意取りまとめ中であるが、主たる意見についての要約の報告を行なった。

3. 事務局からの報告と依頼

- ① 広報⑨号の発行について

- ・ アンケート調査(1)のご協力に対する謝辞とアンケート結果の報告及び住民への「まちづくり協議会」の考えや「地区計画」等を6月14日に説明会開催するご案内を5月15日印刷2～3日で配布を予定。

② 六甲アイランドまちづくり協議会総会開催の件

- ・ 総会は6月14日（土）に開催。同日その後住民への説明会を行う。

③ 今後のアンケート調査について

- ・ 事務局への参画（参加）のお願い。
- ・ 地区計画の説明と回収率アップのため
各街区管理組合理事会、総会での PR 活動の支援を要請
また、各種団体、婦人ネットワーク等への協力要請
等を依頼した。

（議事詳細）

- ・ E7 吉川氏より、今から開票を行うのでは。開票結果報告というが誰が開票したのか信用できない。集計の正確性、公平性が担保されているのか。回収率 13.4%という 2 割に満たない中で地区計画の見直しを行うのか。等の質問があった。
（会長）運営会メンバーが開票し、自分も立会って集計を行った。役員会の限られた時間で行うのは不可能である。前回役員会でも、次回役員会で、集計して結果報告すると話している。

（事務局）お疑いなら全ての資料をお渡しするから吉川氏で全部纏めて頂いて結構です。吉川氏の次回運営会への参加を要請した。

（会長） 短期間の集計であるのでこの回答率は予想の範囲内で、そのうちの 80%以上の地区計画変更の声があるのでその方向で進める。

（藤岡） E7 だけの意見でなく、全体の意見をまとめた中で行うので良い。

- ・ E11 井原氏から、個人的事情で今回のアンケート調査で、区役所からの手紙と別にマンションにもポストインされて困っている人がいるので配慮願いたい。また、住民にもっとまちづくり協議会について説明をする必要があるのではないか。

（区役所） 地権者を把握するため、誰もが閲覧することができる登記簿謄本を利用している。なお、住民台帳や固定資産台帳は区役所であっても目的外使用のため利用はできない。地区外権利者に郵送の場合、送付先の方々に不安がないようにとの考えで、まち協の活動を支援している支援課として、区役所と言う公的な名称で発送するお手伝いをおこなった。ただし、地区外権利者の方々の個人的な諸事情までは把握できないので、アンケートを郵送されることに関し問題がある場合は、こちらに申し出ていただければ、今後については配慮できると思う。

（会長） 管理組合理事会からの要請があればいつでも出向いて説明はする。前から機会あるたびに行くようにしている。E7,E11 にもお伺いしてお話をしてきた。今後も機会あるごとに説明に伺う。

六甲アイランドまちづくり協議会 第13回役員会議記録

日時 平成20年6月21日(土) 16時～18時

場所 RICふれあい会館

1. 出席 定数確認

出席(敬称、役職は省略) 近藤、岸本、岡本、児島、藤原

E3 王子田、E4 藤岡、E5 土屋、E7 吉川、E11 井原、W3 明神、W4 高橋、W5 長田、
W6 安平

神戸市：みなと総局 服部、中島、区役所：まちづくり支援課 永里、秋田

コンサルタント：地域問題研究所 山本

*委任状 なし

*欠席 E6 多田、E8 瀬川、E10 香月、W7 安藤

役員総数18名に対して出席14名、委任状0名、計14名により役員会は成立。

オブザーバー

W4 野坂、E7 西橋、W6 北村、E11 樋口、堅田

2. 六甲アイランドまちづくり協議会、平成20年度総会、住民説明会報告

(近藤会長)

3. アンケート調査(2)について

4. 今後のスケジュール

5. その他

内容

2. (近藤会長) 総会では目的として地区計画の見直しを住民が考え、提案するということを目的に発足、活動してきた。その事業報告と今後の計画、タイムスケジュールの報告を行った。

説明会においては住民100名程度の参加を頂き、神戸市のまちづくり協議会に関する出前トーク、活動報告、アンケート結果の報告等行ったが、質問も多くあり時間が限られており十分な討議がなされなかった。

第1回アンケートの結果は7,000通の配布に対して941通、回答率13.4%を街の意見として集約出来るかという問題はあるが、景観、環境等についての住民の意見、質問が多く寄せられた。環境改善、施設等について(商業施設の活性化等も含めて)、地区計画について、行政について等内容であった。このデータに関しては事務局で厳重に保管する。

まちづくり協議会のトリガーとなった文レクとマンションのイメージの相違、このような違和感のあるものが建たない様にする事がまち協として考えて行きたい。住民を増やす事と建物を建てて環境を壊す事の矛盾とどう向き合っていくのか、空地を失い、住宅を増やすという事に残っている空地を考え残して行く緑地とバランスの取れたものにしたい。

（意見） 神戸市は商業地区に適しているからといって定借で長期間貸してしまっている。これではまちづくりを長期計画で考えていけない。街が虫食いになってしまう。

積水が事業計画の主導から撤退後、神戸市の理想図はどうなっているのか。景観審議会の様な組織はどうなったのか。住民の自治会への関心が低いと同様にまちづくり協議会への関心も低い事が 1 回目のアンケートでもうかがえる。自治会、地域振興会とも連携して切り口を変えてはどうか。⇒住民の意識が低いからと言ってあきらめてしまう事は良くない。第 1 回のアンケートについても 1,000 通近くの回答と多くの意見が寄せられている。第 2 回のアンケートを行う前に各街区への説明が必要ではないか。各街区への説明は事務局、幹部で訪問する事はいくらでも出向く。但し、まず本役員会に参加頂いている街区の代表の役員方が街区へ理事会等で話をして欲しい。事務局、幹部が街区へ説明に行っても参加される方が街区住民の 10%程度に留まるのならアンケートを行うのと同じでは無いか。

美観の問題の改善要望（フェンスで囲まれている所の話等）が出るも、まちづくり協議会の目的と離れているため却下。全体のスケジュールを立てる必要がある。役員会も勉強会を行うべき。

第 2 回アンケートを行う事もまちづくり協議会の主旨、活動を住民に認知させる方法である。行うべきでは無いか。

まちづくりの青写真は土地利用の計画があって、はじめて出来る。

役員会の中で議論はループするも基本的には文化レクリエーション地区にマンションが建つ事に違和感はある事に異論は無い。

その場所に合うものを地区計画により制限をかけて行くことは必要である認識をもつ。

六甲アイランドまちづくり協議会 第14回役員会議記録

日時 平成20年7月日(土) 16時～18時

場所 R I Cふれあい会館

1. 出席 定数確認

出席(敬称、役職は省略) 近藤、岸本、岡本、児島、藤原

E4 藤岡、E5 土屋、E7 吉川、E10 細川、E11 井原

W3 明神、W4 高橋、W5 長田、W6 安平

委任状 E3 王子田、E6 多田

神戸市：みなと総局 皐月、高橋、区役所：まちづくり支援課 永里、秋田

コンサルタント：地域問題研究所 山本

役員総数18名に対して出席14名、委任状2名、計16名により役員会は成立。

オブザーバー E7 西橋、E10 長尾、E11 樋口、堅田、W4 野坂、W6 北村

2. アンケート調査(2)について

内容 アンケートの取り方、設問の仕方について

- ① 地区計画詳細がわかりにくい。
- ② 見通し確保する部分が高さ制限、後退のみで住民にとって理解しにくいのではないか。
- ③ 設問に対する回答を賛成、反対のみでは無く、わからないとの項目を入れたほうが良い。(まち協に一任等を入れたらどうかの意見もあり。)
- ④ 図面を入れてわかりやくした方が良い。
- ⑤ 説明文章中にも①住民を増やそう②景観・環境を守ろう③まちを元気にしようと記載されているが住民を増やそうというのはまち協として限界があると思われる。人口増は不要に思う。
- ⑥ アンケート実施についてまち協の「本音」を伝えるべきではないか。(本音とはラグビー場の南側のマンション建設阻止と考える。)
- ⑦ 前回アンケートの回収率13.4%で住民全体の賛同を得た様な書き方をしてよいのか。それで信用おける計数になるのか。
- ⑧ 業務商業地域について今後議論も行ってほしい。

前記の見解

- (1). ① ② ④については図面等挿入わかりやすいものにする。併せて AOIA 跡地のところについては（仮称）文化レクリエーション地区Ⅲとする。
- (2). ③についてはわからないとの回答欄をつくる。
- (3). ⑤はまち協のスローガンとしてセットで公にしてきたものでありそのままお願いしたい。
- (4). ⑥ラグビー場のマンション建設問題から端を発してはいるが、文化レクリエーション地区にマンションが建つという不整合を無くしていきたいという思いから始まっている。六甲アイランドのまち全体の地区計画を見直し改善しようとしている。一部の感情論で決して活動できるものではない。
- (5). ⑦あくまで地区計画見直しについて反対意見が無かったということを伝えているのであり議決したという事では無い。今回実施予定のアンケートに前回アンケートの回収率、賛成率を事実として記載する。
- (6). ⑧六甲アイランド活性化のために今後のテーマとして取り組んでいきたいと考える。

アンケートの回収率の向上、回収方法について案があれば考えてほしい。フリーダイヤル、FAX での回答、回収ボックスの増設等対応は取組済み。

3. 広報⑩の発行について

六甲アイランドまちづくり協議会 第15回役員会議記録

日時 平成20年8月23日(土) 16時～18時

場所 イーストコート4番街コミュニティホール

1. 出席 定数確認

出席者 近藤、岸本、岡本、児島、藤原

E3 王子田、E4 藤岡、E5 土屋、E6 多田、E7 吉川、E8 近藤、

E11 井原、W4 高橋、W5 長田、

委任状 E10 細川、W3 明神、W6 安平

神戸市港総局 中島 東灘区役所 永里、秋田

コンサルタント 山本

役員総数18名に対して出席名、委任状名、計名により役員会は成立。

オブザーバー E4 山口、E4 岩田、W4 野坂、W4 安達、W5 重友

E4 三木、E7 酒井、E11 堅田

2. 活動報告

① 広報⑩号の発行について

② 六甲アイランドのまちづくりに関するアンケート調査(2)について

- ・中間回収状況

- ・島外地権者には再郵送

③ アンケート調査にPR活動について

- ・六甲ライナー駅にてチラシによる情宣活動

- ・フリーダイヤルFAXの活用

- ・HPの活用

近藤会長 E7の役員会への説明報告。中間集計報告・・・住戸数6,811に対して回収件数895 回収率15.7%にとどまっている。アンケートの回収率を上げていく事、賛成反対よりも地区計画の見直しについてどのような関心を持っているか、関心度の指標にもなるものである。そのためにやるべきことはやりたい。8月25、26日のアイランドセンター、アイランド北口でのアンケート回収の協力依頼のチラシ配布への協力依頼。

アンケートの回収期間の延長の提案。

役員・オブザーバー アンケートの設問に対する意見・・・内容がわかりにくく難しすぎる。景観、建築制限というのは一般住民には理解しにくいのではないかと。賛成を取るための設問になっていないか。

住民を神戸市が利用しているのではないかと。

E4では独自でアンケートの説明資料を作成配布。その説明資料の確認。チラシ配布に合わせて配布してはどうか。

W5 外国人の方の住民が多く全住戸の約10%をしめる。ボランティアで英訳してもらったが内容が不完全であった。

回収期日は8月31日とするべきの声が多く決定。

以上

六甲アイランドまちづくり協議会 第16回役員会議記録

日時 平成20年9月13日(土) 16時～18時

場所 RICふれあい会館

1. 出席 定数確認(以下敬称略)

出席者 近藤、岸本、岡本、児島、藤原

E3 王子田、E4 藤岡、E5 土屋、E7 吉川、

W3 明神、W4 高橋、W5 長田、

事務局補佐 塚本

神戸市港総局 高橋 東灘区役所 永里、秋田

コンサルタント 山本

委任状 E6 多田、E10 細川、E11 井原、W6 安平

欠席 E8 瀬川、W7 安藤

役員総数18名に対して出席12名、委任状4名、計16名により役員会は成立。

オブザーバー W4 野坂、E7 酒井、E11 堅田、W5 藤田、W5 藤崎

2. 活動報告

① 六甲アイランドのまちづくりに関するアンケート調査(2)について

・アンケート調査(2)集計報告

・アンケート調査(2)の設問別結果報告

② 地区計画の見直しに向けた活動記録

3. 今後のまちづくり協議会について

近藤会長 対象戸数6823戸に対して1577件 回収率23.1%となった。アンケート調査(2)の設問別結果について、設問別賛否比率グラフの説明。まちづくり協議会の活動記録についての説明。アンケートの中身については問5についてはアオイア跡地北側部分を住宅建設可能な地区にする事には反対が多かったのと問7の既にマンションが建っている所の追認はおかしいので賛成が少ない結果となった。回収率23.1%では街の総意とは言い難い。国政選挙の投票率と近い数字が表れている。

意見

- ・今回のアンケート調査の結果により全体の流れを見ることが出来るのではないかな。
- ・投票率ばかりにこだわるべきでは無い、まち協として今後どうしていくのかを考える必要がある。
- ・地区計画の変更には大多数の住民の賛同を得ることが必要。大多数とは70%以上が必要、23.1%では大多数とは言えないと思う。
- ・大多数と言えない結果が出た以上、まちづくり協議会は解散するべき。
- ・アンケートの回収は街区毎でかなりのバラつきがある。今後も努力すれば改善される余地があると思う。1577件の意見も大事にして行きたい。

・近藤会長 この結果の報告を神戸市役所、東灘区役所には訪問、報告をするつもりである。

・神戸市 みなと総局は六甲アイランドの大きな地権者として参加している。
今回のアンケート調査の結果については住民の総意として取り上げる事は出来ない。
次回アンケートを延ばしてじっくり行ってみてはどうか。

・山本コンサルティング 街づくりとして今回のアンケートについて検証していく点はあると思うが、地区計画の変更のための住民の総意は取れていない。

・神戸市に確認するが他地区でも同じように大規模な場所で地区計画変更の住民の総意得たところがあるか。

・神戸市 三宮 間野地区が一例となると思う。

・六甲アイランドと比べると対象が違わないのでは無いか、今回のアンケート調査の結果においてもラグビー場に近いW4、W5の住民については61.3%と79.5%と高い回収率を示している。

・業務商業地区、住宅地区、文化レクリエーション地区 今の地区計画のままだとどこにでも住宅が建てられてしまう、その事を住民は認識するべき。

・神戸市が主導で出来ないのか、過去に6回も地区計画の変更を実施している事を今回も出来ないのか。過去の変更については住民の総意を取り、告知しているのか。事の発端は戸建てを建てられないところに中高層住宅を建てられてしまった、地区計画の矛盾に対する是正から始まっている。

・神戸市 確かに過去6回、地区計画の変更を行っているが、島全体に関わる変更は過去にない。地権者間の合意が得られるならば住民の総意は必要ない。素案の縦覧と案の縦覧は行っている。

・近藤会長 まちづくり協議会を今後どうしていくのか、次回、第17回まちづくり協議会役員会で協議し、進む道を決めたい。

近藤会長は退任の意向表明。

以上

六甲アイランドまちづくり協議会 第17回役員会議記録

日時 平成20年10月11日（土）16時～18時

場所 RICふれあい会館

1. 出席 定数確認（以下敬称略）

出席者 近藤、岸本、岡本、児島、藤原

E3 王子田、E4 藤岡、E5 土屋、E7 吉川、E8 近藤、E10 細川、E11 井原

W3 明神、W4 久野、W5 重友、W6 安平 W7 花輪

事務局補佐 塚本

神戸市港総局 皐月、服部 東灘区役所 永里、秋田

委任状 E6 多田

欠席者 山本コンサルタント

役員総数 18名に対して出席 17名、委任状 1名、計 18名により役員会は成立。

オブザーバー W4 野坂、W5 日高、E7 荒井、E7 酒井、E11 堅田

2. 活動報告

① 六甲アイランドのまちづくりに関するアンケート調査（2）について

- ・広報⑩号「アンケート調査（2）への協力のお礼と結果報告」を各街区に配布
- ・アンケート調査（2）の結果を神戸市みなと総局と都市計画総局に報告

3. 今後のまちづくり協議会について

近藤会長 まちづくり協議会としては反省すべき点は多々ある。第1回、第2回のアンケートの回収率は残念ながら低迷した。急ぎすぎとの声もあるが実行したこと意義がある事に思う。六甲アイランドの希望を持てるまちづくりを行っていくことが大事。

地区計画の変更という大枠を先に決め細部を後にするというやり方については反省点もある。

意見・討議

・「100人に聞きました」（別添史料 岸本副会長からアンケート回答率低迷の理由についての資料）のサンプリングはどのようにしたのか。←岸本副会長 自分の人脈へのヒアリングしたものを集約。わかりやすくまとめたもの。

（解散支持意見）

・AOIA跡地とラグビー場の換地という戦略に無理がある。アンケートに関しても誘導的で難解であったため、回答率等が低迷したと思う。

・時間という納期に間に合わせるためアンケートを急いだという感がある。宣伝の時間も短すぎたのでは無いか。←大枠が先、詳細は後にしたためにわかりにくいものになったかもしれない。

・近藤会長が退任されるのであれば、まちづくり協議会は解散するべき。

・まち協の現状は議論の場になっていない。執行部が一貫性の無さ、隠ぺい、すり替え等を行っている限り運営していくのは良くない。三者会議を開催している（神戸市、対策委員、マンション業者）ようだがその情報も伝わってこない。

・主旨を明確にして新しく行うべきでは無いか。

- ・神戸市が住民に相談無く土地を第三者に貸すことをまち協に相談も無いという事自体存在意義は無いと思う。
- ・アンケート回答率の低さは六甲アイランド住民に不信任されたのと同じ、もっと魅力のあるものに改めるべき。
- ・W4、W5のラグビー場跡地へのマンション建設反対という住民エゴにまち協は加担する事は出来ない、特定街区の利益のためのまち協は存続出来ない。

(継続支持意見)

- ・街の中心に整備工場が建つ、一般住民は出来るまで知らない事であった。住民にとってハッピーな事では無い。本来、そういう事では良い街づくりは出来ない。少なくとも23%でも街を考える人がいるという事は意義のある事。これをスタートラインとして継続していくべきに思う。
 - ・投票率ばかりにこだわるべきでは無い、まち協として今後どうしていくのかを考える必要がある。この結果についてはまち協幹部も反省すべき点はある。
 - ・ドイツ人学校、自動車整備工場、外資から他へ譲渡され所有者がどんどん替わってしまう事、コープの撤退等街の活性化は必要であることは理解出来る。地区計画の変更に固執せず、まちづくりを考える協議会として組織を見直してはどうか。
 - ・神戸市という六甲アイランド最大地権者がまち協に参加してくれて話を直接できる場としてのまち協の意義は大きいと思う。
 - ・少なくとも住民の中で興味を持つ人が出てきた事に意義はある。やり方、運営方法を変えてはどうか。
 - ・一旦休会をして再開するのも手法である。
 - ・本当にまち全体の活性化を唱えるならば企業のトップも巻き込む必要があるのでは無いか。
 - ・現状メンバーで1年以上続けてきたのであれば、ノウハウも蓄積されていると思う継続していくべき。
 - ・組織の再編は必要かもしれないが、良いテーマに変更していけば住民の意識は高まると思う。
 - ・地区計画の変更を第一の命題で活動してきたが、住民の共感を得られるテーマに修正して活動してはどうか。
 - ・行政を動かすパワーがまち協に必要。
 - ・3つのテーマに添いしっかり取り組んでいくことは決して悪いことでは無い。
- ・神戸市 一度まちづくり協議会を解散してしまうと再結成するには手続きと時間がかかる。方向性の変更で検討してはどうか。元々、特定の目的で出来たものではなく継続的にまちを良くしていくもの。テーマを広くして取り組む目的を変更していくのも良いと思う。

次回、フリートーキングにて今後のまち協を討議することとする。

六甲アイランドまちづくり協議会第18回役員会議事録

日時 平成20年11月8日(土) 16時～18時

場所: RICふれあい会館

1. 出席、定足数確認 (敬称、役職は省略)

出席: 岸本、岡本、児島、藤原(事務局スタッフ 塚本)、

E3王子田、E4藤岡、E5土屋、E6多田、E7吉川、E8近藤、E10細川、E11井原

W4高橋、W5長田、W6安平、

神戸市港総局 服部、中島 東灘区役所 永里、秋田

コンサルタント 山本

委任状: W3明神、W7花輪

欠席: なし

オブザーバー: W3越智 W4野坂 W5重友、日高

E4山口 E7酒井

役員総数17名に対し、出席15名 委任状2計17名により役員会は成立となるが、本日は議案は無く、参加者全員から意見を聞く会とする。

2. 六甲アイランドまちづくり協議会の今後の活動展開のあり方について

岡本副会長 提出挨拶文より抜粋 六甲アイランドまちづくり協議会の原点は文化レクリエーション地区に中高層住宅が建つ現地区計画がおかしい・不備があるという考えからです。この地区計画を見直す事は神戸市議会にも採択され、神戸市及び東灘区のサポートや自治会・まちかど会議のバックアップでまちづくり協議会が設立されました。ラグビー場マンション問題がきっかけで、このまちの発展・活性化のためには地区計画の見直しが必要であるのではないかとこの事から住民が立ち上がった事は間違いありません。ただ、それを一部住民の利害やエゴであると取られるのは残念です。アンケートにより住民から1,500名余りの回答をお寄せいただいた事は貴重で意義あるものに思います。この声を基に次のステップにどう活かしていくか議論すべきに思います。本質な議論していくべきに思います。

岸本会長 挨拶 文化レクリエーション地区のラグビー場跡地のマンションがふさわしいものかどうか、神戸市と議論を重ねていく必要はある。元々、W4・5の対策委員会からまちづくり協議会の発足したのは間違い無い。住民全体にしっかり理解を求めてから立ち上げるべきであったという思いはある。今後はラグビー場跡地ラグビー場の問題に焦点をしばった活動をしていくのも一つの政策に思う。

近藤会長の退任について

- ・退任したのか
- ・挨拶していない
- ・議決権はあるのか
- ・けじめをつけて解散させるべき

等の意見がでる。

近藤会長のように責任感がある人が途中で投げ出すはずは無く、体調の理由であるのは事実である。

- ・やはり近藤会長が退任する以上まちづくり協議会は出直しをするべき。
- ・「100人に聞きました」という資料で実際は聞かれていないレベルの嘘の報告を上げる等、役員会で

も疑義が生じている協議会では運営不可能である。

上記意見後、六甲アイランドまちづくり協議会解散要求が提出される。(理由は以下)

- ・アンケートの回収率の低さ
- ・街区代表の選出の不備
- ・一部住民の利害のため
- ・議会運営の不備
- ・近藤会長の退任と併せて解散すべき

フリーなディスカッション形式をとるため山本コンサルティングに司会進行を委任する。

山本コンサルタント 六甲アイランドまちづくり協議会は神戸市から認定を受けた団体では無い。まちづくり協定を神戸市と結ぶ事を目的としていない。あくまで地区計画の変更を目的と発足しているのでスタンスが違う。

今日は各街区の代表という事では無く、個人的な意見でも構わないので闊達な意見を頂戴したい。

・神戸市が作成した六甲アイランド設立の趣旨の中で六甲アイランドの土地利用計画があり文化レクリエーション用地については国際学校をはじめとして市民の魅力のある文化・余暇活動の場として、海辺や公園、緑地などと一体的に利用できるスポーツ・レジャー施設を配するとされている。これがラグビー場にマンションが建つことになるのは正しい事には思わない。このシンプルなおかしい事がW4・5の住民エゴととられる事は残念。元々、神戸市はポートアイランドでの開発の経験をもとに六甲アイランドは積水をはじめとする民間活力(企画力、実行力、資金力等)を積極的に導入してきたとされる。今一度、民間、住民の力で良い街に行きたい。また一部の役員の方は三者会議(神戸市、業者、マンション対策委員会)が裏取引の場と認識されている事、運営委員会で勝手に物事が決められているという誤解されているが、これでは正しい会議が運営出来ない。但し、執行部も役員会、住民に対してもっと理解をしてもらうための努力不足もあったと思う。住民同士が対立する事は良くないと思う。

・協議会の目的、アンケートの趣旨が不鮮明になっている気がする。理事会が持ち回りであり意思統一出来難い。本来、自治会ともっと密接であるべき、神戸市の情報も入っていない状況に問題に思う。まちづくり協議会は一度解散するべき、ただし再構築する場合は街区の理事会で再協議したい。

・E7での説明会でアンケートの結果(50%の回収率では落第、80%で合格)によっては会長自身が辞任するということを話ししていた。けじめつけるべきに思う。

・神戸市のバックアップを受けて組織された協議会を解散させてしまう必要は無い。中身の変更を考えていくべき。

・本来、六甲アイランドは良い街であるが、商店が衰退し街に活気が無くなってしまっている。デカパドスも住民不在で出来てしまい、文化レクリエーションも侵食されている。街全体を良くする会合は必要に思う。

・もっと早くに地区計画の見直しをしておくべきであった。まちを良くするための会合は絶対に必要、行政に任せておけば良いという時代は終わった。住民による行政に対する対抗軸を持つことは大事。

・一度、神戸市から助成を受けて始まったものであり、解散し再構築するのに時間と労力がかかる。

・街を前向きに改善していくことが大事、この熱い思いは役員同士で同じに思う。解散では無く組織

の変更、運営手法の検討をしていってはどうか。

- ・組織とは中身をどんどん変えていくべきもの、解散とは消えてなくなってしまうもの。継続させていくことが大事。
- ・協議会は継続すべき、一度作ったものを無くす事は無い。最初から良いものは出来ない。現状ではキャラクターの場になってしまい終始している。但し独立したものでは無く、自治会と連携もしくは組み込んでしまう事も検討していってはどうか。場合によれば、街区から2・3名役員会に参加して貰うのも方法に思う。

総論

街を良くしたいという役員みんなの思いは同じに感じた。まちづくり協議会の継続は多数の意見に思うが、組織、運営方法は変更すべきとの意見も多く、次回の役員会で議論することとする。

六甲アイランドまちづくり協議会第19回役員会記録

日時 平成20年12月13日(土) 16時～18時

場所: RICふれあい会館

1. 出席、定足数確認 (敬称、役職は省略)

出席: 岸本、岡本、児島、藤原、

E3 王子田、E4 藤岡、E5 土屋、E6 亀井、E7 吉川、E11 井原

W3 鈴木、W4 高橋、W5 長田

神戸市港総局 中島、服部 東灘区役所 永里、秋田

コンサルタント 山本

委任状: E10 細川、W6 安平、W7 花輪

欠席: 近藤会長、E8 近藤

オブザーバー: E4 増田、W3 越智、W4 野坂、W5 重友、徐

役員総数18名に対し、出席13名 委任状3名 計16名により役員会は成立となる。本日は前回役員会で決めたように参加者全員から意見を聞く会とする。

2. 議事進行については山本コンサルタントにお願いする。

(フリーディスカッション)

前回の役員会では活動を続けるべきとの声が強かった、但し運営方法については改善すべきとの結論に至ったと思料する。

- ・管理組合の代表とすれば、なかなか自分の意見として述べるににくい。管理組合と切り離し考えていくのも一案である。住民に提案する原案を検討する場という位置づけで議論すればどうか。
- ・街区で二人、三人と参加して貰い街区に協力を求めていく事と参加していない街区、事業者等参加団体を増加させていくべき。
- ・当初、ワークショップで現状の問題点(コープ撤退等含め)を議論し、三つの目標を定めた。三つの目標を基にまちづくりで必要な事を役員会で決め、もっと住民に働きかけていくべき。
- ・住民、自治会での活動には限界があるのではないか。
- ・神戸市は六甲アイランドの自治会、管理組合の性質を取り違えていた。管理組合の役員が持ち回りや抽選で選ばれている現状では強力な組織に育ちにくい。一度、解散して組織を作りなおしてはどうか。
- ・まちづくり協議会の地区計画の見直し、三つの目的、任務は終了した。目的を再度決めて一から出直してはどうか。
- ・アンケートの結果について、協議会のその後の活動について住民は理解していないのでは無いか。
- ・三つの目標は役員会で決めたもの、今さら新しい目標を決めるのはおかしい。中長期的にまちづくり協議会を運営するためには1年で役員が替わるのはおかしい。複数年の任期の検討要だと思う。運営委員会がある事はおかしな事ではない。それで良い。
- ・街区、役員の中でも温度差がある。アンケートの内容を理解していない住民も多い。一部の人間が運営していると思う住民も多く、信頼関係を無くしている役員もいる中での運営は難しいと思う。組織を一度解散し、新しく組織を設立するべき、ラグビー場だけのことに囚われず島全体の事を考えるべき。
- ・まちづくり協議会は必要に思う。但し自治会の一委員会として活動すべき。島全体として街区全部が参加して初めて存在価値が出ると思う。
- ・まちづくり協議会の主旨が役員会の中でも理解されていないのが残念。一部のエゴで運営されているのでは無く島全体を考えていることを認識して欲しい。原点に帰って継続させていくべき。

- ・まちづくり協議会が何故立ち上がったのか、再度考えて欲しい。神戸市がポートアイランドでの経験を活かし、デベロッパーにコンペ参加させ、行政主導の民活導入のまちづくりであったはずである。震災を経て、当初の計画に無い賃貸住宅や文化レクリエーション地区にマンションが建つなど20年の歳月を経て予定のものと差異が出てきている。これを本来ならば神戸市が行政指導してくれるべきものが何もなされず、市議会に働きかけてようやく動き出した。その事に対して住民同士で後ろ向きのお話をしている場合では無い。子供達に良い街を残すべく今立ち上がるべきに思う。
- ・今回の一連の流れはラグビー場が発端であると思う。神戸市は冷たいと思う。第二期工事が始まるので期限はあったと思う。本当に今出来たマンションが文化レクリエーション地区にふさわしいマンションと言えるかどうか再度考えてほしい。
- ・1年半活動してきたことが、この役員会で十分理解されなかったのは残念でしたし、反省点でもあります。是非今後はまちづくりの本質的な議論をしていきたいので、多くの人に運営会に参加していただきたい。
- ・役員数を定数まで増加させるべき。出来るだけ多くの人に参加して貰い活性化していく方が良いと思う。
- ・「三つの目標」を活かした活動でよい。アンケート回収が20%強だから賛成が取れていないと言われるのは残念であり、20%強も取れたことは成果である。20%の総意を基に、地区計画の変更を進めるよう神戸市に申し入れることで良い。
- ・街区に張り紙されていた3名連名の、解散要望書には賛同できない。読んで不愉快な気分になった。街区の掲示板に張られていたので今回オブザーバーで参加したが、アンケート20%は評価できる。住民が力を合わせてまちを良くしようとする事は必要なことに思う。
- ・HPを見ても良い方向を目指していると感じている。「三つの目標」に向かって取り組んでいくべきだ。このまち協が行政に認められるようになればよい。本当のまちづくりを考えてくれるような人・幹事を増やして前向きに話を進めて欲しい。
- ・役員メンバーは交替し、主旨を見直すべき。場合によればE11街区はまちづくり協議会から脱会する可能性もある。この街はまだまだ優先してやるべき事がある。(防犯、防災等)街の中の情報が一元管理されていないまち協など無意味。(少年野球のグラウンドの例)
- ・最終的にまちづくり協議会の継続に賛成6・反対3・持ち帰り2であったと思う。結論が出ないまちづくり協議会自体存在が無駄。癒しの期間をおいて再結成されるべき。
- ・継続を前提に進行手順、組織をどうするかを考えていくべき。一部の人の無意味な意見で会議が進行していない。
- ・国政選挙が20%台で推移している六甲アイランドではアンケートの結果が総意ととれる。住民不在で作られた地区計画の変更を神戸市に要求していくべき。

岸本副会長より六甲アイランドの完成予想図が示される。(昭和61年作成分)と同時に六甲アイランドの現状が判る海側からのカラー航空写真と分譲事業特別会計の仕組みを説明した文章が配布されました。これを廃止しない限り土地の価格を経済情勢に合った実勢価格に下げられない旨の理由が示されておりこれの廃止はすべて市長の政治判断にかかっているようです。因みに大阪府は前知事が企業局特別会計を廃止しました。

(山本コンサルタントのまとめ)

今日のフリートーキングでは、前回大方のご意見であったまち協継続を前提に、今後の運営体制のあり方についてご意見をいただいた。この場でそれを一本にまとめることはとてもできない。今日のご意見をふまえ、次回役員会までに運営委員会でそのたたき台を検討され、それをもとに再度議論されてはいかかが。

次回は1月の会議を休会、2月14日(土)に開催とする。

六甲アイランドまちづくり協議会第20回役員会記録

日時 平成21年2月14日（土）16時～18時

場所：RICふれあい会館

1. 出席、定足数確認（敬称、役職は省略）

出席：岸本、岡本、児島

E4 藤岡、E5 土屋、E6 亀井、E7 酒井（代理）、E10 細川、W4 高橋、W5 長田、
W6 安平

東灘区役所 永里、秋田

コンサルタント 山本

事務局 塚本

委任状：E3 王子田、E8 近藤、E11 井原、W7 花輪

欠席：W3 鈴木

オブザーバー：E11 堅田、W3 越智、W4 野坂、W5 重友

役員総数17名に対し、出席10名 代理出席1名 委任状4名 計15名により役員会は成立となる。

2. 開会 岡本副会長を議長として議事を進行する。

議長挨拶：本年最初の会議です。気持ちを一新して議論していきたい。住民が考えるまちづくりの提案、要望機関として、行政の協力を得ながら、多くの住民参加の下に発展していければと考えています。

3. 今後のまちづくり協議会について

(1) 協議会の今後の進め方について

まちづくり等に経験豊かな「山本コンサルタント」まちづくりの基本的な進め方について説明を求めた。

<山本コンサルタントよりの説明>

- ・まちづくり協議会の目的について
- ・ルールづくり・・・土地利用法等 空地利用、文化施設の設立
- ・ものづくり・・・再開発事業、区画整理等
- ・問題解決型

<出席者の意見>

- ・まちづくり協議会としては住民に対して情宣不足であった。六アイを活性化して行きたい。この街は人口増加をしており恵まれている環境にある。
- ・色々な団体との関係を構築しながら、ルールを作っていくことが大事、それが未利用地の有効活用につながる。
- ・今後、会の運営をどのように進めて行くかが大事に思う。神戸市がこの島の大半の地権者であり、もう少し前面、主導的に出て欲しい。
- ・神戸市は六甲アイランドに対して目を向けてくれているのでは無いか。
- ・街の全体像を考える事から入る事が必要、一部の住民だけにとってのメリットではなく、全体像を検討すべき。
- ・神戸市は企業特別会計の処理をせざるを得ないことになるため、AOIA跡地を放置せざるを得ない状況にある。
- ・六甲アイランド住民は無関心層が多すぎるのでは無いか。

- ・街の住民だけでは無く企業も巻き込んで行くべき。フェーズを切って段階的にテーマを決めて運営して行けば良いと思う。
- ・まちづくり協議会はラグビー場の問題がきっかけになったのは事実である。地区計画について認識不足であった。神戸市が考えていた開島時の計画と現状とでは全く違うものになってしまっている。どこかで修正も必要に思う。
- ・街を考える会として10年、20年先に向けて継続させていくことが大事に思う。
- ・甲南大学やカナディアンアカデミー等、地権者と一緒になって街のルール作りから始めることが大事では無いか。
- ・商業施設等の誘致も必要であるが、住民の大半が関係する住宅を主にコンセプトをたてて欲しい。資産価値を下げないためのルールを作っていって欲しい。
- ・最大地権者の神戸市が自分の意見をしっかり述べて欲しい。今後、六甲アイランドをどうして行きたいのか意見を示して欲しい。中期計画の表明もして欲しい。
- ・待っていても神戸市からプランは出てこないなので、神戸市に対して要望することの提案を出来る強い協議会にしていかなければならない。

(議長まとめ)

ワークショップ、勉強会などの手段で、将来像を含めて議論していきたい。

(2) 役員会のメンバー構成と会長の選任について

(今後のまちづくり協議会の組織、進め方について)

- ・街区の代表が参加するだけでは無く、希望者の参加も考えてはどうか。
- ・六甲アイランド住民に対する提案機関として原案を考える会という認識でどうか。
- ・希望者を募り、出来るだけ多くの参加を呼びかけていく方が良いと思う。
- ・管理組合の代表であれば、理事の改選や街区の代表という意識があり自分の意見を述べにくい面があり、ベクトルが揃いにくい。
- ・組織としては管理組合の代表の方が、一部の地区に偏りなく六アイ全体の均等な意見として集約し易い。

(議長まとめ)

色々な意見が出たので、まず広報⑫にて、まちづくり協議会の現行の街区代表に加えて参加希望者を全街区から募る事とする。

次回、役員会は3月14日(土)に開催。

六甲アイランドまちづくり協議会第21回役員会記録

日時 平成21年3月14日（土）16時～18時

場所：RICふれあい会館

1. 出席、定足数確認（敬称、役職は省略）

出席：岸本、岡本、児島、藤原

E4 藤岡、E5 土屋、E7 吉川、E11 井原、W3 鈴木、W4 高橋、W5 長田、
新規参加者 E4 丸尾、E6 牛尾、W3 越智、W4 若田、W4 野坂、W4 菅、
W5 重友、W5 中川、W6 戸建 春名、W7 池田、W20 猪口

みなと総局 中島、服部

東灘区役所 永里、秋田

コンサルタント 山本

事務局 塚本

委任状：E6 亀井、E8 近藤、E10 細川、W6 安平

欠席：E3 王子田、W7 花輪

オブザーバー：E11 堅田、W4 稲田

役員総数17名に対し、出席11名 委任状4名 計15名により役員会は成立となる。

2. まちづくり協議会メンバー募集の広報12号の結果について

3月13日現在23名の応募があった。（今回の席順の説明・紹介）

岡本副会長の挨拶：六甲アイランドのまちづくりについて興味を持ってくれている方が多く
応募頂いた事は嬉しく思う。（過去のまちづくり協議会の活動等経過説明）

今回の新規応募者がウエスト3番から6番で13名となっておりラグビー場のマンション
問題と関係しているのではないかと質問あるも、全街区にチラシを配布し広く参加を呼
びかけた事を説明。

<応募メンバーの自己紹介>（発言者の氏名は割愛）

- ・E6 最近六甲アイランドの様子が悪くなって行っている事が心配で参加した。
- ・E4 まちづくり関係の仕事をしている。今は現職なので直接まちづくり協議会メンバーとして参加出来ないが、来年以降は可能である。六甲アイランドはバブル期に計画された街であり、現状とかい離があるのは事実である。湾岸道路建設や街の中の開発行為も出る可能性がある中、住民から声を上げてまちづくりを行っていくべきに思う。自分自身ももっと勉強して行きたい。
- ・W20 新しく六甲アイランドに入居し最近の経緯もまちづくりの事もわからないが参加させてもらった。20年以上前は六甲アイランドのコンテナターミナルで働いていた。
- ・W7 震災前に入居。永年都市づくりに関わっていた事もあり、この街が今後どういう形で進んでいくのか興味がある。
- ・W6 渦が森から転居してきた。六甲アイランドの環境を守りながら、良い街にして行きたい。協議会に知り合いがいるので参加させてもらった。
- ・W5 永年住宅会社で働いており、六甲アイランドの分譲にも携わっていた。当初の計画と変わってしまったが、住民が住みやすいまちづくりに手助けをしたい。
- ・W5 ラグビー場跡地のマンション建設では確かに不愉快な思いはした。しかしながら、その事を乗り越えて、まちづくり協議会の活動を自分で確かめたく参加した。
- ・W4 1988年に入居、2年後の1990年から転勤で埼玉へ転居していたが再度関西に戻ってきた。ブランクはあるが一緒にまちづくりをして行きたいと思う。

- ・W4 六甲アイランドは一人でも安心して暮らせる街であったはず仕事が忙しく、街の事を考える事が出来なかった。少し時間が出来るようになり、今一度日々の生活している目線で見るとコープをはじめとする店舗の撤退、AOIA跡地の放置、街の空洞化により犯罪の温床になる可能性がある中非常に住みにくい街になっていると思う。ラグビー場跡地にマンションが建つことはおかしいと思うが、反面、街を活性化させるために人口増加するのはやむを得ないと思う。
- ・W4 昭和40年から別の行政機関で働いておりこの島に携わっていた。夢のある島に思っていたが当初の思惑と変わってしまった。何とか良い街にして行きたい。
- ・W3 平成7年に入居した当初は夢を持って入居した。店舗が閉ったりして地域の人とのつながりが希薄になっているように思う。
- ・W4 自分自身の勉強のためオープン参加した。
- ・E11 安心というものが無くなっている。良いまちづくりをするのには時間をかけて島全体に認識させることが必要に思う。
- ・W4 現役員でも応募、街区の代表を退いた後も住民の手によるまちづくりに関わりたく応募した。

岡本副会長：皆さんのこの街を良くしたいという気持ちは良く理解できた。役員、ワーキンググループ、サポーター等どういう役割を担って頂くのか検討して行きたい。基本は街区の代表をコアの役員としてお願いしたい。

<その他意見>

- ・街区の代表は1年で交代する事については、継続性が大事なまちづくりとは主旨が違うような気がする。今後検討する必要がある。
- ・現状、六甲アイランドは疲弊してきている。店舗の撤退、街の汚れ、乱れている環境問題、学校が荒れてきている教育問題等々大きな犯罪は無いが、小さなものは増加基調にある。地区計画の問題はラグビー場跡地のマンション建設に始まったが、アンケートを取っても23%の回収しかなく、投票率を始め何事につけても住民の関心が低いのが現状である。多くの反応が出てくるよう粘り強い周知活動・啓蒙活動をするべきだ。
- ・街区代表の理事長を中心として組織を作り全島を網羅するというのは理念として良いが、理事長が抽選等で決められている街区が多いような現状では組織として弱い。今までの組織で義務と責任を街区代表に果たして貰うのか、志ある人間に運営を任せていくのかの岐路にたっているとも言えるのでは無いか。
- ・神戸市がもう少しまちづくり協議会に積極的に参加して欲しい。ポートアイランドの企業誘致や分譲に力を入れているのはわかるが、阪神高速の延伸、六甲アイランド南の埋め立て、AOIA跡地等々六甲アイランドも行政主導で動いて貰わないといけない事がある。

3. 第3回総会について

- ・総会については5月に開催予定。
神戸市からの助成金も含めて会計報告義務がある。
- ・協議会については今後も多くの方に参加を呼びかけて行きたい。
参加呼びかけについて資料をコミュニティライブラリーに設置するのはどうか。

4. その他

- ・次回役員会は4月11日（土）に開催予定
- ・運営委員会は毎週火曜夜8時からW5の会議室にて開催している。多数参加して欲しい。